

各受賞者のコメント

優秀賞



せき みなこ  
関 美奈子 さん (23歳)

このような賞をいただき、大変光栄に思っております。手描きで自分なりに愛情を込めて描いたキャラクターたちなので、数ある作品の中から選ばれたと知った時は本当に嬉しかったです。自分の作品を見て、80歳を越えてもポスターのような元気なおじいちゃんおばあちゃんにいられるよう、歯を始め健康について考えるきっかけになれば幸いです。この度は誠にありがとうございました。



いwasaki たまみ  
岩崎 珠海 さん (18歳)

今回は、このような賞をいただき嬉しく思います。80歳までに歯を20本残してほしいと思い、清潔感のあるポスターを目指しました。このポスターを見て歯について考えてもらえれば嬉しいです。



おいかわ とおる  
及川 徹 さん (19歳)

この度はこのような立派な賞を頂き、ありがとうございます。今回は、「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」というメッセージがより実感的に伝わるように、見た人にこうなりたいと思わせるような健康な歯をした笑顔の老人を描きました。私の描いたポスターによって、自分の歯を長く大切にしようと思って頂ければ幸いです。



みぞぐち さやか  
溝口 紗綾佳 さん (24歳)

今回はこのような賞を頂き、大変嬉しく思います。私は歯科衛生士になる為に勉強中で、たくさんの方々にこの運動を身近に感じていただきたいと思いました。今回の絵はお風呂で毎日体を洗い、清潔にしているのと同じように、お口の中もきれいに磨いて、気持ち良く過ごして頂きたいと思いながら書きました。たくさんの方々に歯の大切さを伝える事ができる歯科衛生士になりたいと思います！ありがとうございました。

入選



あべ ゆい  
阿部 唯 さん (19歳)

「虫歯にならないために歯をみがく」だけでなく、「おいしくご飯を食べるために歯をみがく」をコンセプトに描きました。



おいかわ まゆ  
及川 繭 さん (18歳)

授業での作品制作がきっかけで応募することになりました。歯をモチーフとしたキャラクターを制作し、シンプルながらも目にとまるデザインを心がけました。清潔感のあるカラーリングでまとめました。賞をいただくことができとても嬉しいです。



のだ ちおり  
野田 千織 さん (20歳)

私は徳島大学歯学部で歯科医師を目指して学んでおり、歯の健康を維持することの大切さを日々実感しています。今回は、多くの人にとって身近な「歯磨き」を通して8020運動の重要性を伝えたいと思い、このポスターを制作しました。



おがわ よしゆき  
小川 由幸 さん (17歳)

歳をとってからも、歯を残してみんなでHAHAHA!と笑えたらいいなと考え、このポスターを作成しました。



ゆきまさ ゆうこ  
行政 祐子 さん (23歳)

仲のよいおじいさんと孫娘が、好物の硬いお煎餅を分け合って食べているところです。パリッパリッと煎餅をかみ砕く音と、今にも笑い声が聞こえてきそうな画面にしました。幼い頃から硬いものをかむことで、丈夫な歯を育ててほしい。年齢を重ねても、若い頃と同じものを食べてほしい。そんなメッセージを込めて作成しました。



おの しげる  
小野 繁 さん (19歳)

8020運動ポスターは、学校の授業の課題として取り組みました。おじいちゃんを描く時、線や色をぬる事が一番大変でした。歯ブラシで歯の汚れや心の汚れをキレイにしようと考えて描いてみました。おじいちゃんをカッコ良くして歯ブラシの武器ですべての汚れをキレイにする設定にしました。



ふくだ まい  
福田 麻衣 さん (19歳)

見たときに、誰もが目に行くようにおもしろく書きました。



ひらの なおひこ  
平野 直彦 さん (19歳)

まさか自分が描いたものが選ばれるなんてとても驚いています。80才まで健康なピカピカの歯を保っていきよう、自分自身も歯をつけていきたいとあらためて思いました。

# 平成23年度 8020運動ポスター ポスター審査・受賞理由

ポスター  
審査員

柳澤 紀子(武蔵野美術大学 教授)  
丸山 直文(武蔵野美術大学 教授)

最優秀賞



関 美奈子さん

■微笑ましい老夫婦を細部までよく描き込んだ秀逸な作品。メッセージもストレートに伝わります。(柳澤紀子)  
■仲の良さそうなおばあさんとおじいさん、そしてその傍らには元気そうな犬が描かれている。こんな幸せそうな未来は誰もが夢見る世界ではないだろうか。(丸山直文)

優秀賞



岩崎 珠海さん

■若い感性が漲った作品。身体を画面いっぱいに配した作者のセンスは抜群。(柳澤紀子)  
■歯を擬人化したシンプルで力強いキャラクターと、若干右上がりに書かれた文字とのバランスが上手く調和し、画面に緊張感を持たせている。(丸山直文)

優秀賞



及川 徹さん

■“自分の歯で笑おう”というスローガンが良い。老人に対する作者の愛情が素直に表現された作品。(柳澤紀子)  
■パソコンで描かれた作品が多い中で、画用紙に直接描かれた作品はぬくもりを感じさせる。また表情豊かに細部を上手くとらえている。(丸山直文)

優秀賞



溝口 紗綾佳さん

■今、流行(ハヤリ)の“カワイイ”を全面に出した作品。バスルームという大胆な設定が大変ユニークです。(柳澤紀子)  
■白・黒の強いコントラストで描かれた背景に、ポップで可愛いキャラクターがピンク色を基調に描かれている。その対照的な世界観が意表をつく面白さに繋がっている。(丸山直文)

入選



阿部 唯さん

■画面からはみ出んばかりのパワフルな作品。色の配合、ディテールにもよく気がつかっていて好ましい。(柳澤紀子)  
■躍動感のある大胆な構図ながら画面下部にケーキやラーメンなどの食べ物が描かれ、画面にアクセントを与えている。(丸山直文)

入選



及川 颯さん

■雪が降る中で、反射してキラキラ光る歯、可愛い2人のフィギュア、夢のある少女らしい作品です。(柳澤紀子)  
■シンプルだが泡の中で2つの歯が寄り添いあう様子はとてもキュートで愛らしく、清潔感があり好感が持てる作品である。(丸山直文)

入選



野田 千織さん

■正面からウワーッと大きな口を開けて…ユーモアがありますね。思わず歯を磨きたくなります。(柳澤紀子)  
■大胆に大きく口を開けた人を画面いっぱいに描く事によって、大らかで迫力のある作品に仕上がっている。(丸山直文)

入選



小川 由幸さん

■コンピューターグラフィックを駆使した力作。歯の輝きとレタリングをリズムカルに配して、サウンドも聞こえるような…。(柳澤紀子)  
■“HAI!” “HAI!” “HAI!”の笑い声と、白い輝きの“歯”を掛け合わせ、リズムカルに画面構成をしている所が面白い。(丸山直文)

入選



行政 祐子さん

■お爺さんとお孫さんのカップルから食べる事の幸せがほのぼのと伝わります。テッパン力もありますね。(柳澤紀子)  
■子供とお年寄りが並んでニコやかに食べている様子はとても微笑ましい。また、手の形などはなかなか上手く描けていると思う。(丸山直文)

入選



小野 繁さん

■レトロな画風で…逆に現代的な作品に仕上がっています。美しく老いた男性もステキです。(柳澤紀子)  
■心身ともに健康そうな老人が白い歯を輝かせている姿と“歯ブラシで心を磨け、歯も磨け”という文字の組み合わせが、大変ユニークで印象的である。(丸山直文)

入選



福田 麻衣さん

■純粋な不器用さを生かした作品。色の組み合わせをもう一(ひと)工夫されたらさらに良い作品になりますよ。(柳澤紀子)  
■屈託なく何にも捕われないような女の子の表情と、ストレートな表現力が明るく力強い作品を生み出している。(丸山直文)

入選



平野 直彦さん

■歯が喜んで飛び上っているポップな作品。色も美しく人目を引きませんが、下のレタリングはもう少し気をつけましょう。(柳澤紀子)  
■思い切って一番自立つ中心にある歯にはほとんど手を加えず、画面の上下左右にだけ色を置きたりはセンスを感じさせる。力の抜け具合が他に観られないユーモアを感じさせた。(丸山直文)